

M-Aを中心としたAroma (Tea Tree)Oil群の 小動物臨床への応用

石井博 DVM,PhD 須賀川動物病院

Tea Tree Oil群



主製品, Tea Tree Oil群の成分

	精 油 成 分					基 剤	
	ティートリー	ユーカリ	ローズマリー	ラベンダー	クローブ	スクワラン サ メ肝油	オメガ剤 月 見草油・亜麻 仁油
M-A	●	●	●	●		●	
M-A II	●	●	●	●			●
M-A III	●	●	●	●		●	
M-PA II	●	●	●	●		●	
Tea Tree Clove	●	●	●	●	●	●	
B-dil	●	●	●	●		●	
M-PA II Drink	●	●	●	●			●
Tea Tree & オ メガ Super	●	●	●				●

各種精油の特徴

ティートリー	ユーカリ	ローズマリー	ラベンダー	クローブ
<p>フトモモ科メラルーカ属の常緑植物。アボリジニが葉を砕いて怪我や皮膚の治療に使用。第2次世界大戦ではオーストラリア兵の常備薬。民間療法で細菌、真菌、消毒、火傷、精神安定作用。</p> <p>ティートリーに含まれるシネオールには毒性（犬猫で沈鬱、衰弱、運動失調など）があるが、オーストラリアの精油の規格ではかなり低く設定している。</p>	<p>フトモモ科ユーカリ属の総称。500種類以上あり。アボリジニが葉を砕いて怪我や皮膚の治療に使用。</p> <p>民間療法で殺菌作用、抗炎症作用、鎮痛・鎮静作用、筋肉痛などに使用。</p> <p>毒性 呼吸障害、昏睡、死亡。</p>	<p>シソ科に属する常緑性低木。消臭効果や抗菌作用、抗酸化作用があり、肉の鮮度を長持ちさせることからヨーロッパでは古くから肉料理に使われている。</p> <p>その他炎症抑制作用、血行改善効果、関節炎、神経成長因子の生成を高める、アルツハイマー病。</p>	<p>シソ科の背丈の低い常緑樹のラブアンデユラ属の総称。多くの種がありコモン・ラベンダーのものとは限らないことあり。</p> <p>コモン・ラベンダーには鎮痛作用、殺菌作用、防虫作用。</p> <p>毒性 接触性皮膚炎</p>	<p>フトモモ科の植物チヨウジノキの開花前の花蕾を乾燥させた香辛料の名。</p> <p>芳香健胃薬、殺菌作用、防腐作用、ゴキブリの忌避剤</p> <p>漢方では女神散などに使われる。</p>

Tea Tree Oil群の主な適応症

適 応 症 (概要)

M-A
M-A II
M-A III
M-A II ワセリン軟膏

抗掻痒作用、抗菌作用、創傷治癒促進作用などの作用を有し、感染症、創傷、膿瘍などに使用。膿胸にも使用可。

M-PA II
M-PAII ワセリン軟
M-PA II Drink

腫瘍一般に使用。腫瘍組織中に注入し腫瘍を小さくする。腫瘍の周囲に注入しておくともージンが明瞭になる。M-PA II ワセリン軟膏は腫瘍の摘出後に注入し縫合しておくとも、再発抑制。M-PA II Drinkは術後の遠隔転移の抑制作用あり。

Tea Tree &
Cloves

殺ダニ作用により、疥癬ダニ、アカラスなどに有効。副作用はほとんどなく、安心して全身にも使用できる。

Tea Tree & ω
Aroma
Cream α 、 β 、 γ

消化器の潰瘍や糜爛を修復。てんかん発作など神経疾患にもよい。Aroma CreamはM-Aと同様の使用が可能。M-Aの後に塗布すると効果が持続し、保湿性に優れる。 γ は点眼も可。

B-dil
シャンプー

敏感な皮膚にはM-Aよりよい場合あり。ケネルコフをネブライザーで治療する場合抗掻痒作用、抗炎症作用、皮膚生理機能の改善などの作用があり、皮膚疾患の維持管理に有効。

M-Aの特徴

- ・強い抗菌作用 耐性菌を作らない
- ・自己治癒力を高める
- ・副作用がほとんどない
- ・組織に浸透 組織修復作用
- ・炎症反応物質の生成が少ない

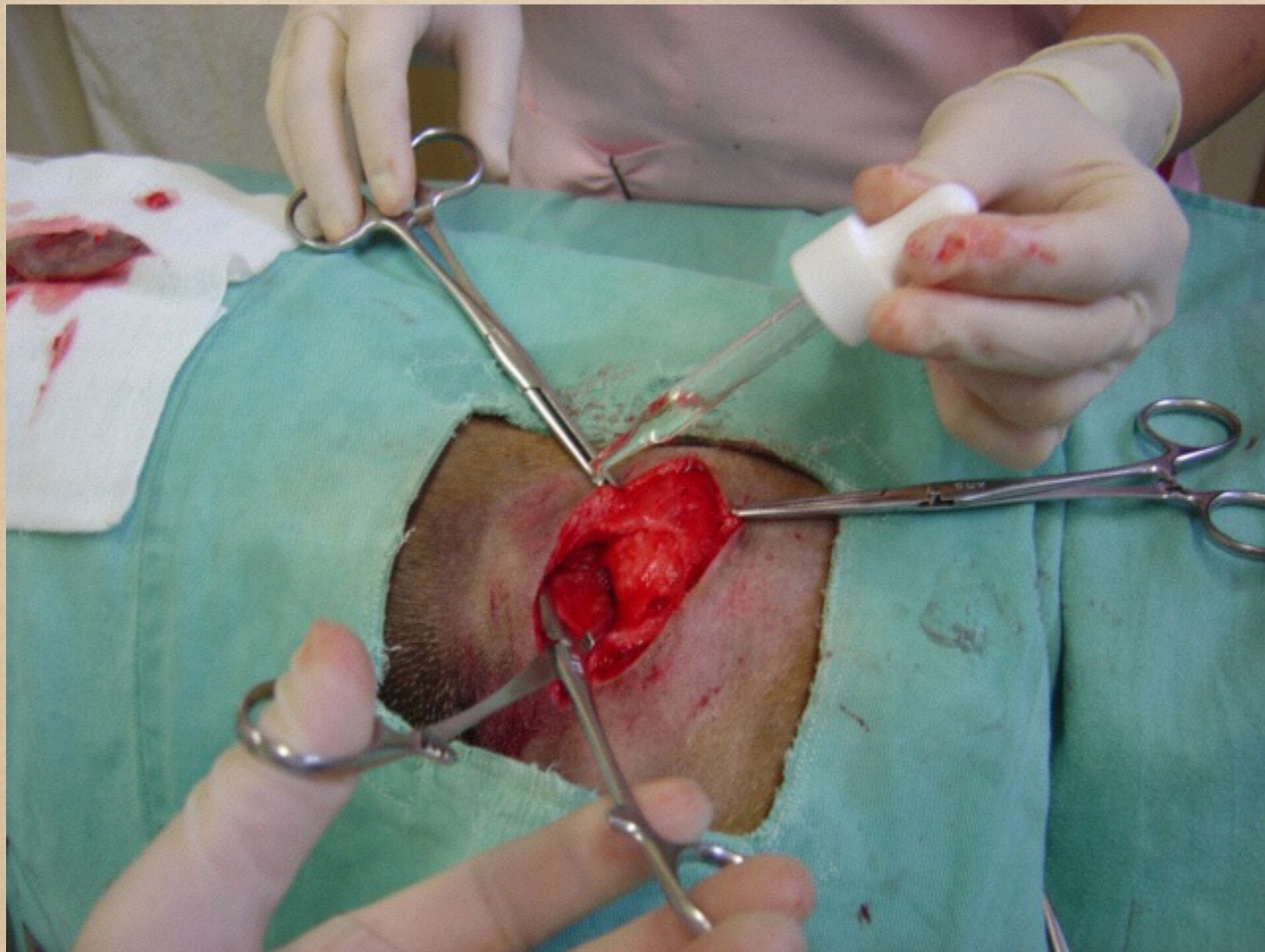
外科周術期に感染を防ぎ、治癒を促進する
先ずは使ってみて、自分なりの感覚をつかむ

使用法

Tea Tree Oil (ointment) の塗布と注入
および経口投与



使用法1



使用法2



使用法3



使用法4



使用法5



使用法6



使用法7



使用法8



症例- 1

